印出　慎也 議員

地域活性化について

問　市は、株式会社ホリプロと包括連携協定および鎌倉市と文化・観光交流協定を締結したが、現在取り組んでいる施策と、今後の事業展開について伺う。

答（企画政策部長）ホリプロスタッフが市内を取材し、ユーチューブにＰＲ動画を配信している。エンタメ業界の強みを生かした取り組みを進める。鎌倉市とは、市民団体による交流などを行っている。両市の名誉市民である故永井路子先生の企画展など、相互に活性化できる施策を展開していきたい。

市有財産の有効活用について

問　①コロナ禍において市バスの稼働率が著しく低下したが、稼働率を向上させるため実施した施策と結果を伺う。②市バス稼働率を向上させるためには利用者への規制緩和が必要であると考える。市の見解を伺う。

答（市長）②市有バスは自家用自動車のため、運用が厳しくなっているが、稼働率を高める施策を考えていきたい。
答（財政部長）①実施した施策は特になかった。

日直について

問　近隣の筑西市や栃木市は支所での日直業務を廃止し、本庁へ集約している。固定費用削減や市職員の本来の業務へ集中させるためにも、３庁舎体制から１カ所へ集約すべきと考える。市の見解を伺う。

答（市長）市民サービスへの影響を考慮しながら、事務の効率化、職場環境の改善を検討していきたい。

小林　登美子 議員

古河市の災害対策について

問　①地震・洪水・竜巻が発生した際の道路河川、派遣要請、ＩＴ情報管理、消防や病院等の連携や、防災計画について伺う。②利根川左岸築堤について伺う。③上下水道の整備について伺う。④「自助・共助・公助」の３つの助より、地域防災力を高めるための市の取り組みや、消防署や消防団、自治会との連携、展望について伺う。

自主防災組織リーダー研修会
活動事例紹介（２月７日）

答（市長）②昨年度、利根川上流河川事務所へ堤防強化対策等の要望を提出した。今後も国へ強く働き掛けをしていきたい。
答（総務部長兼危機管理監）①古河市地域防災計画に基づいて、防災対策本部の体制強化訓練等を行い、関係機関にも参加いただいている。④自治会などで勉強会を行い、地域防災力の向上に努めている。消防署などの公助に加え、共助として関係団体との協力体制を強化していく。
答（上下水道部長）③震度６強を想定した耐震化を図り、災害時の給水体制を整えている。

令和６年６月より開始予定の窓口業務委託について

問　委託を決めた経緯と、委託により改善される点、市民へのメリットを伺う。

答（市民部長）正職員へのアンケート調査により顕在化した課題を解決するため、民間事業者から提案を募集した。行政と民間の役割分担型の窓口運営に移行するため、正職員はコア業務に専念する環境に改善される。カウンターの外にコンシェルジュを配置し、来庁者に寄り添った対応を行う。

≪その他の質問≫
・古河市のブランド戦略について